

農林水産政策研究所 研究成果報告会

2021年11月30日

ロシア、ブラジル・アルゼンチン、オーストラリア
ーコロナ禍と農業ー

2. ブラジル・アルゼンチン

農林水産政策研究所 国際領域

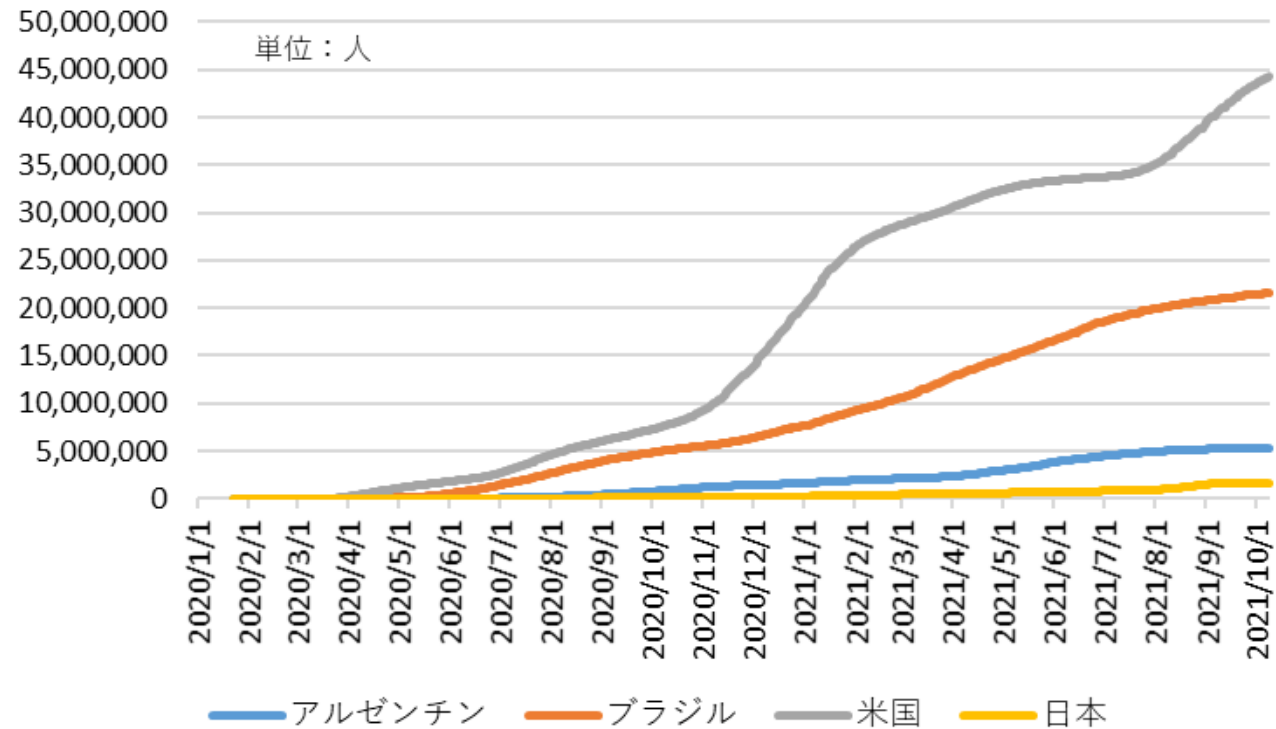
林 瑞穂

目次

- I. Covid-19感染拡大の影響
- II. 世界の大豆・トウモロコシの生産・輸出動向
- III. ブラジル・アルゼンチン的大豆・トウモロコシ生産概要
- IV. ブラジル・アルゼンチンの農産物輸出入動向
- V. ブラジル・アルゼンチンの食料国内価格高騰への対処法
- VI. ブラジル・アルゼンチンにおける諸課題
- VII. 総括

I . Covid-19感染拡大の影響

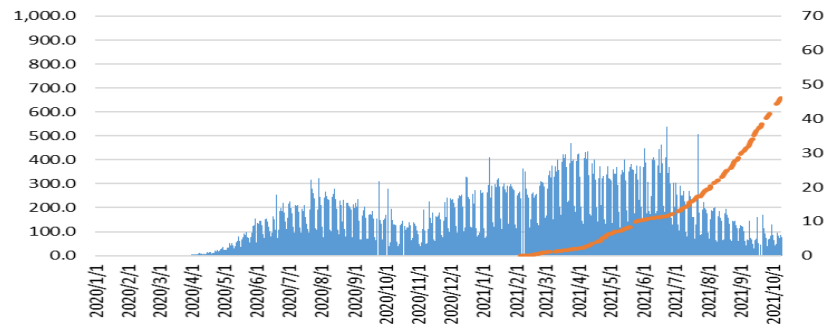
ブラジル・アルゼンチン・米国・日本のCovid-19感染者累計



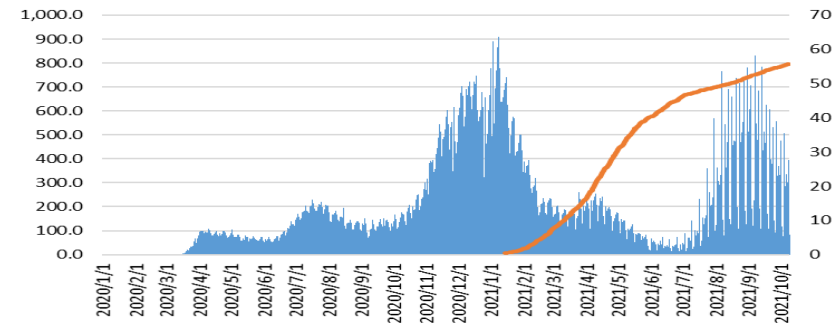
出所：Our World in Data

ブラジル・アルゼンチン・米国・日本のCovid-19 100万人あたりの新規感染者数およびワクチン接種率推移

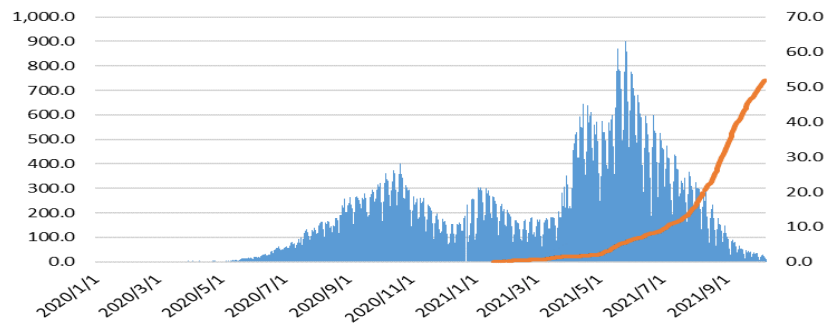
ブラジル



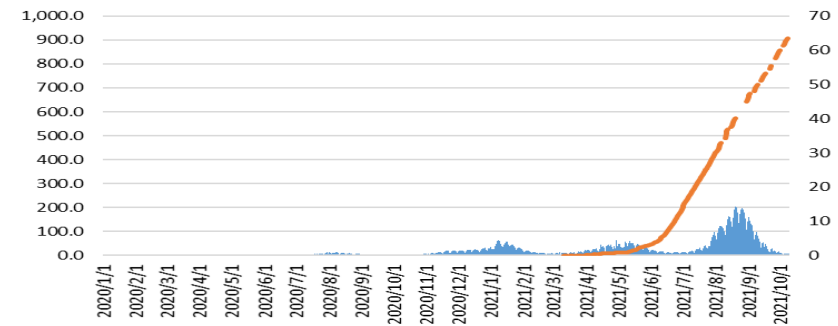
米国



アルゼンチン



日本



出所: Our World in Data 左軸(青い棒グラフ 単位: 人) 右軸(オレンジ線グラフ 単位: %)

ブラジル・アルゼンチンの経済指標

	前年同期比GDP成長率	インフレ率	政策金利	失業率
ブラジル	12.4% (2021年第2四半期)	年率10.67% (2021年10月時点)	年率 7.75% (2021年10月時点)	13.2% (2021年8月)
アルゼンチン	17.9% (2021年第2四半期)	年率52.1% (2021年10月時点)	年率38.0% (2021年10月時点)	9.6% (2021年第2四半期)

出所: ブラジル中央銀行、ブラジル地理統計院 (IBGE)、アルゼンチン国家統計センサス局 (INDEC)、アルゼンチン中央銀行

ブラジルアグリビジネスとCovid-19 ①

- ✓ 2020年2月に初めての感染者が確認されて以降、感染者数が急増。2020年3月14日にロックダウンの方針を決定し、翌週から実施。
- ✓ 2020年4月にCovid-19対策として融資枠設定や非正規雇用者や零細企業に対する緊急支援策としての月額600レアルの現金給付等の約2,000億レアルの経済的対策を講じ、翌月5月に戦時予算(Orçamento de guerra)として議会は承認。
- ✓ 2020年3月20日に、エッセンシャルワーカーとして、医療従事者や警察組織のほか、農業に係る生産や物流に従事する人々を認定し、ロックダウンの対象外とした。
- ✓ 2020年3月23日、南米各国の農務大臣が、南米大陸の農産物に対する輸送網の維持を確認。
- ✓ Covid-19感染防止のための行動制限により、ブラジルのマクロ経済は大きく冷え込むが、農業部門全体における影響は軽微。

参考: 林瑞穂(2021)「ブラジル」『主要国農業政策・貿易政策プロ研資料』農林水産政策研究所

ブラジルアグリビジネスとCovid-19 ②

＜アグリビジネスへの影響＞

- ✓現金給付を背景として、主食であるコメの購入が集中し、国内価格が高騰。物価安定化のために、コメの輸入を強化。
- ✓中国の旺盛な大豆需要のほか、インドやタイの砂糖生産量低下による輸出量の増加などもあり、主要輸出港であるサントス港の作業が停滞するという事態もあり。
- ✓一方、国内のガソリン利用の低下により、混合されているエタノール需要が弱まる。
- ✓2020年6月に、中国政府が、ブラジルの複数の食肉処理工場を指定して、輸入認可の一時停止を実施。

アルゼンチンアグリビジネスとCovid-19

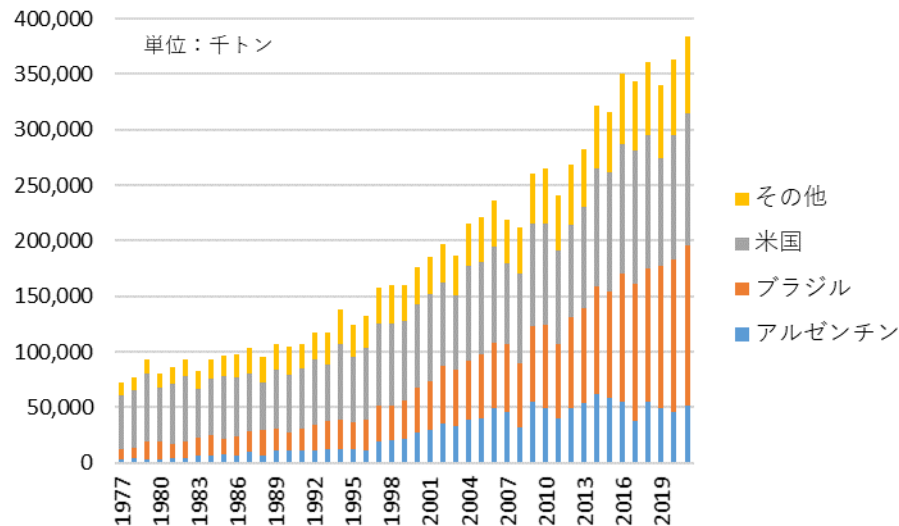
- ✓ 2020年3月3日に最初の感染者が確認されて以降、速やかに対処し、3月19日に外出禁止令を発出。なお、農牧業等に対しては、例外的に制約は課せられず。
- ✓ しかし、経済への影響を懸念し、行動規制の緩和を行ったところ、感染者数が急増し、厳しい行動規制を実施。2021年10月時点では、感染者数も大幅に減少したため、行動規制も大きく緩和。
- ✓ 2020年3月17日、Covid-19に係る経済対策を発表し、食料品価格の上限を設定するなどの対策を実施。
- ✓ ペソの大幅下落もあり、輸入に頼る農薬などの農業資材の調達コストが急増。
- ✓ 2020年11月に、中国によるアルゼンチンの一部の食肉加工施設からの輸入を停止。
- ✓ 大豆輸出の加速化のため、2020年10月から12月まで輸出税の減免を実施。

出所：中村出(2021)「アルゼンチン」『主要国農業政策・貿易政策プロ研資料』農林水産政策研究所、アルゼンチン農牧漁業省

Ⅱ．世界の大豆・トウモロコシの生産・輸出動向

世界大豆生産量と市場占有率の推移

- ✓ 1990年代まで、世界の大豆の約50%を米国が生産。
- ✓ 2000年代以降、ブラジルおよびアルゼンチンの2か国で、米国の大豆生産量を凌駕。

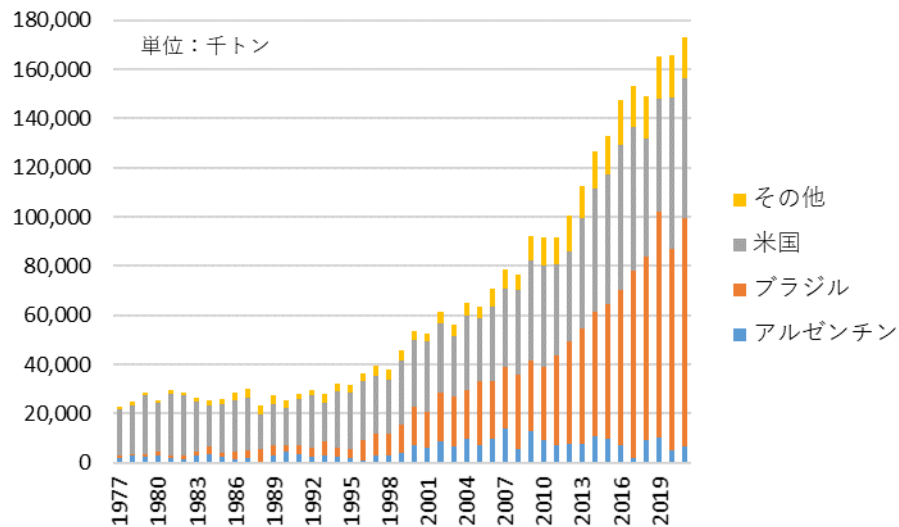


	アルゼンチン	ブラジル	米国	その他
1970年代	4.1%	14.4%	66.1%	15.4%
1980年代	7.2%	18.1%	54.9%	19.8%
1990年代	10.9%	19.6%	47.7%	21.8%
2000年代	18.4%	25.7%	37.8%	18.1%
2010年代	16.5%	32.0%	32.9%	18.6%
2020年代	13.1%	37.6%	31.0%	18.3%

出所：米国農務省（USDA）PSD Onlineおよび「世界の食料統計（<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>）」

世界大豆輸出量と市場占有率の推移

- ✓ 1990年代まで、米国が世界の大豆輸出の過半以上のシェアを保有。
- ✓ 2000年代以降、ブラジルは世界に対する供給を急拡大。

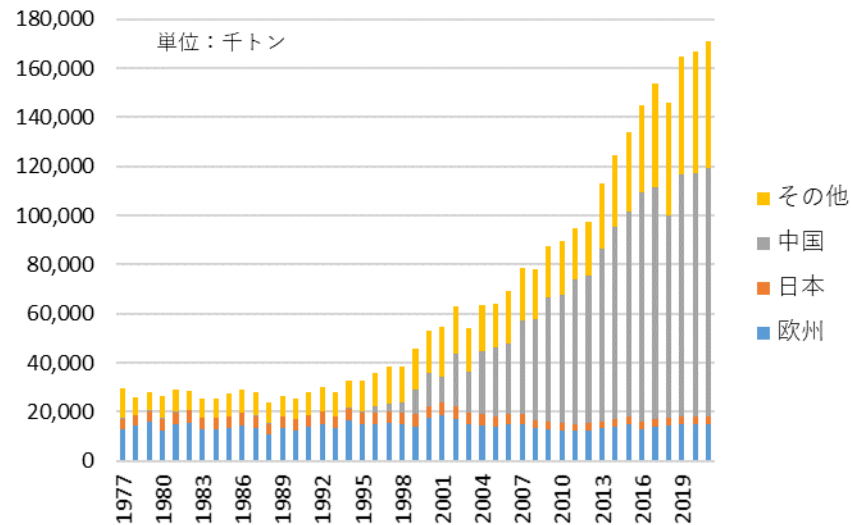


	アルゼンチン	ブラジル	米国	その他
1970年代	9.4%	3.5%	83.5%	3.7%
1980年代	8.0%	9.2%	74.0%	8.7%
1990年代	8.5%	18.0%	63.9%	9.6%
2000年代	13.1%	33.3%	45.0%	8.6%
2010年代	6.4%	44.6%	37.2%	11.9%
2020年代	3.4%	51.6%	34.9%	10.0%

出所：米国農務省（USDA）PSD Onlineおよび「世界の食料統計（<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>）」

(参考)世界大豆輸入量と市場占有率の推移

- ✓ 1990年代まで、世界の大豆需要地域は、欧州および日本。
- ✓ 2000年代以降、中国がシェアを拡大させ、世界の大豆輸入の約6割を占有。



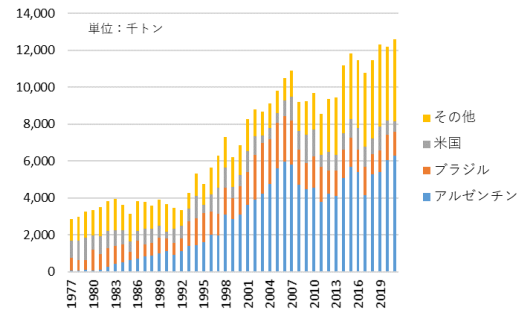
	欧州	日本	中国	その他
1970年代	51.6%	15.1%	1.5%	31.8%
1980年代	49.8%	17.2%	0.7%	32.3%
1990年代	43.3%	14.3%	6.1%	36.2%
2000年代	23.0%	6.4%	41.2%	29.4%
2010年代	10.7%	2.4%	61.1%	25.7%
2020年代	8.9%	1.9%	59.2%	30.0%

出所：米国農務省（USDA）PSD Onlineおよび「世界の食料統計（<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>）」

世界大豆油・大豆粕輸出量と市場占有率の推移

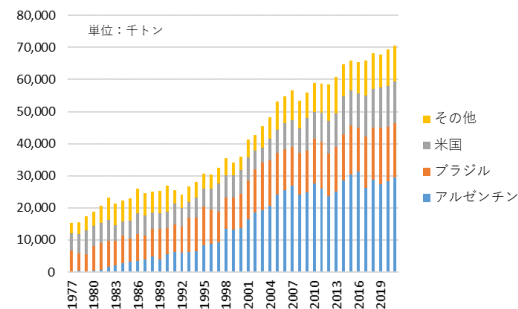
- ✓ 世界有数の大豆生産国であるアルゼンチン・ブラジル・米国が、大豆加工品輸出の約7割を占有。
- ✓ アルゼンチンは、大豆(粒)ではなく、大豆加工品の輸出を振興。

大豆油



	アルゼンチン	ブラジル	米国	その他
1970年代	2.8%	19.3%	35.3%	42.6%
1980年代	15.0%	23.5%	20.6%	40.9%
1990年代	34.8%	22.8%	16.2%	26.2%
2000年代	50.5%	23.6%	9.9%	16.0%
2010年代	45.0%	13.4%	9.7%	31.8%
2020年代	49.9%	10.7%	5.4%	34.0%

大豆粕

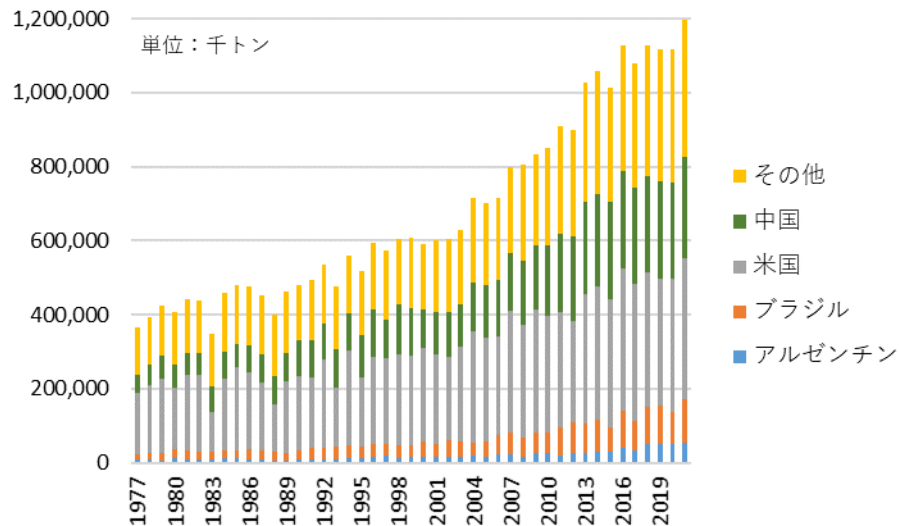


	アルゼンチン	ブラジル	米国	その他
1970年代	2.0%	35.7%	38.8%	23.5%
1980年代	11.8%	35.5%	24.5%	28.2%
1990年代	28.5%	33.4%	21.5%	16.7%
2000年代	44.0%	26.5%	15.0%	14.6%
2010年代	43.4%	23.5%	17.1%	16.1%
2020年代	41.2%	24.4%	18.3%	16.1%

出所: 米国農務省(USDA) PSD Onlineおよび「世界の食料統計 (<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>)」

世界トウモロコシ生産量と市場占有率の推移

- ✓ 世界のトウモロコシの50%以上を、米国および中国が生産。
- ✓ ブラジルおよびアルゼンチンも生産量を拡大させているも、未だ2か国で12%程度の占有率。

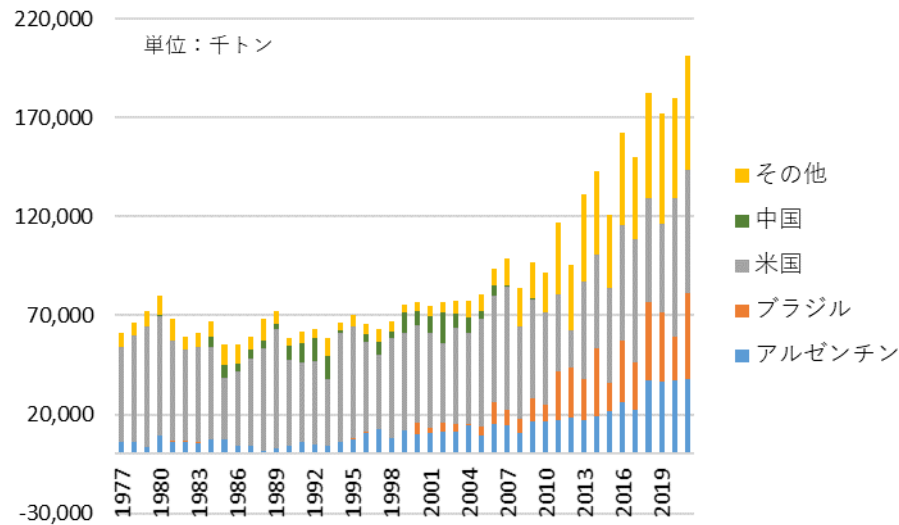


	アルゼンチン	ブラジル	米国	中国	その他
1970年代	2.1%	4.2%	46.6%	14.0%	33.1%
1980年代	2.2%	5.2%	41.6%	15.9%	35.1%
1990年代	2.3%	5.8%	40.3%	20.2%	31.4%
2000年代	2.6%	6.5%	40.0%	19.7%	31.2%
2010年代	3.3%	8.1%	33.5%	23.8%	31.2%
2020年代	4.4%	8.8%	32.0%	23.1%	31.7%

出所：米国農務省（USDA）PSD Onlineおよび「世界の食料統計（<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>）」

世界トウモロコシ輸出量と市場占有率の推移

- ✓ 2000年代まで、世界におけるトウモロコシ輸出の過半以上を占有。
- ✓ 2010年代に入り、ブラジルおよびアルゼンチンのシェアが急拡大。

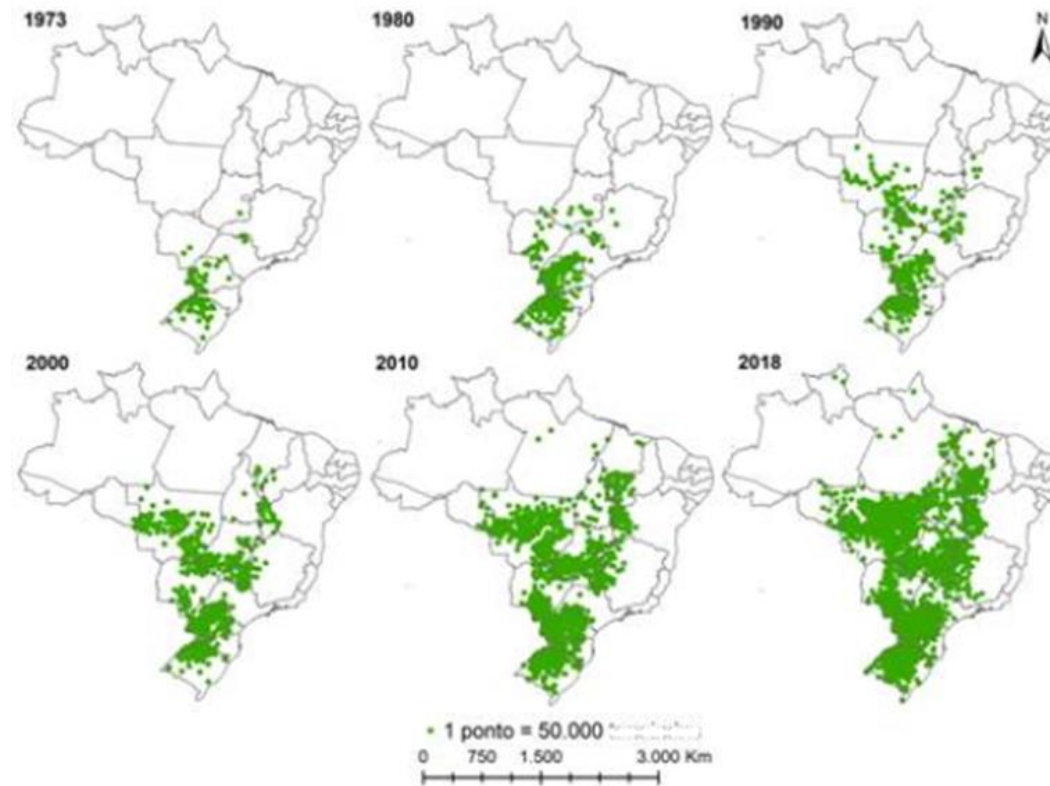


	アルゼンチン	ブラジル	米国	中国	その他
1970年代	7.7%	0.0%	81.6%	0.1%	10.6%
1980年代	8.3%	0.2%	73.8%	4.3%	13.3%
1990年代	11.5%	0.1%	70.0%	10.0%	8.4%
2000年代	14.8%	7.2%	59.7%	6.7%	11.6%
2010年代	17.0%	18.9%	34.2%	0.0%	30.0%
2020年代	19.8%	17.1%	34.8%	0.0%	28.3%

出所：米国農務省 (USDA) PSD Onlineおよび「世界の食料統計 (<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>)」

Ⅲ. ブラジル・アルゼンチン的大豆・トウモロコシ生産概要

ブラジルの大豆主要生産地域



出所 : https://revistaesa.com/ojs/index.php/esa/article/download/esa28-1_10_ruralidades/esa28-1_10_html?inline=1

アルゼンチン的大豆主要生産地域



1970-1975



1991-1995

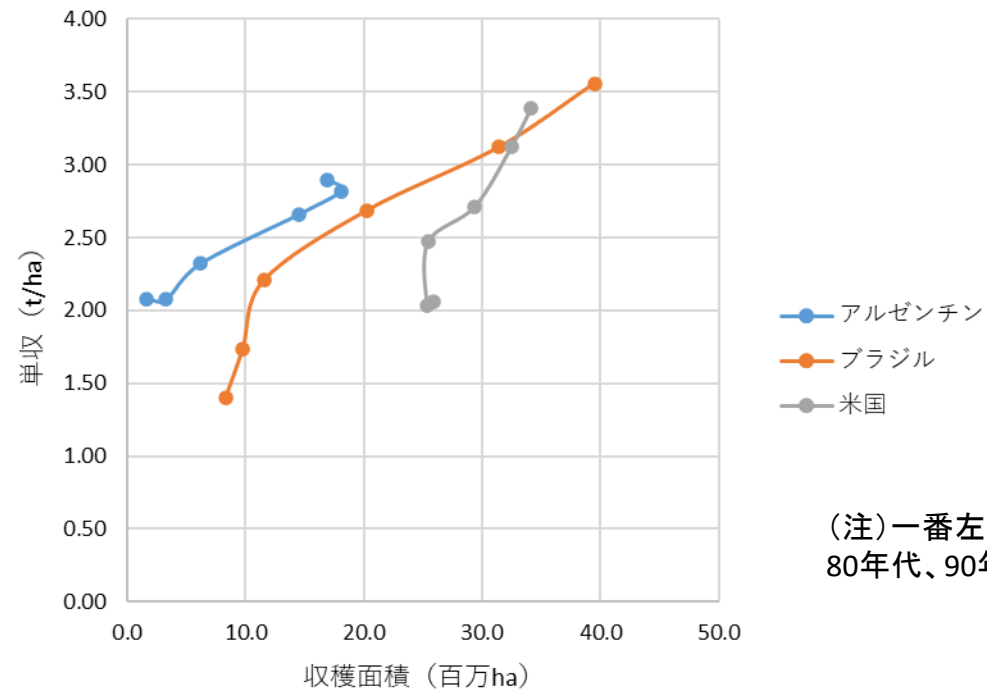


2006-2010

出所: <https://www.nature.com/articles/palcomms201795/figures/1>

ブラジル・アルゼンチン・米国の収穫面積および単収推移(大豆)

- ✓ ブラジルおよびアルゼンチンは、2000年代に収穫面積および単収が急拡大。
- ✓ 特に、ブラジルにおいては、収穫面積および単収のいずれも米国を凌駕する水準を達成。

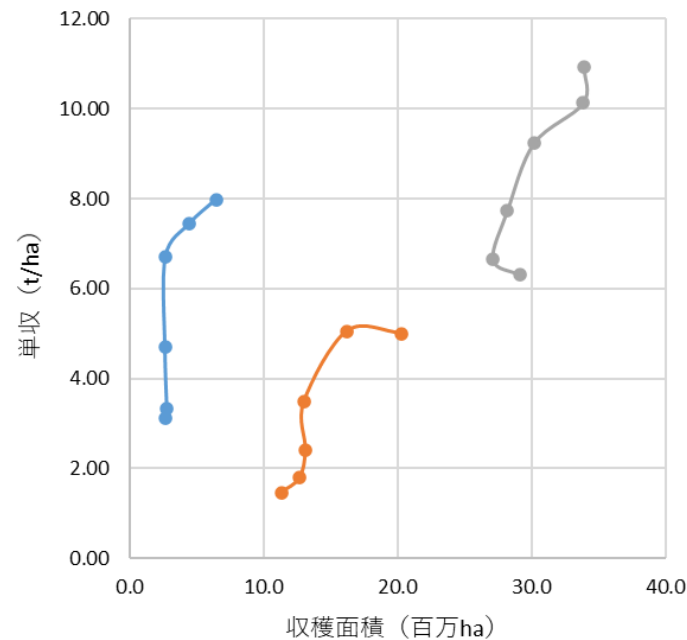


(注) 一番左に位置するプロットから、1970年代、80年代、90年代、00年代、10年代、20年代を示す。

出所: 米国農務省 (USDA) PSD Online

ブラジル・アルゼンチン・米国の収穫面積および単収推移(トウモロコシ)

- ✓ ブラジルおよびアルゼンチンは、米国同様、単収の改善により生産量を拡大。
- ✓ 米国との乖離はいまだ大きいですが、ブラジルにおける収穫面積は2010年代以降に急激に拡大。

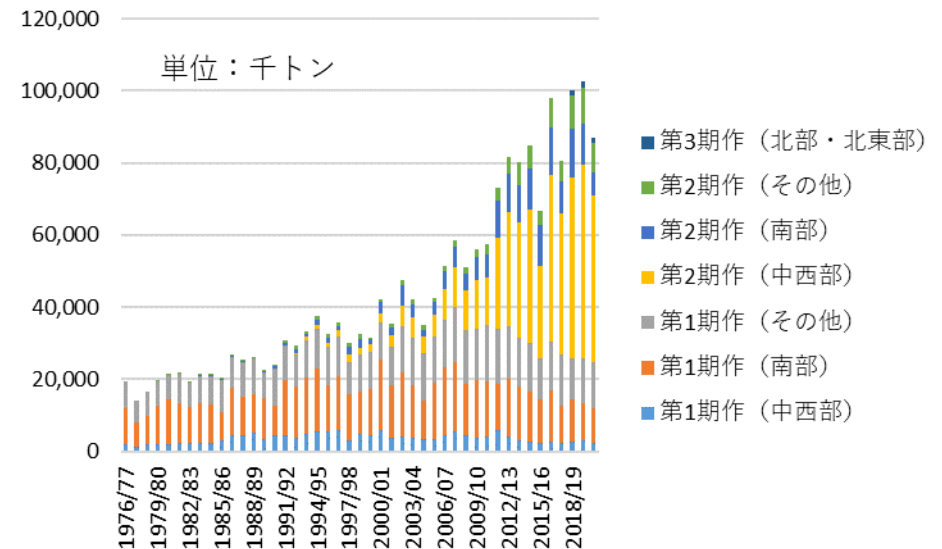
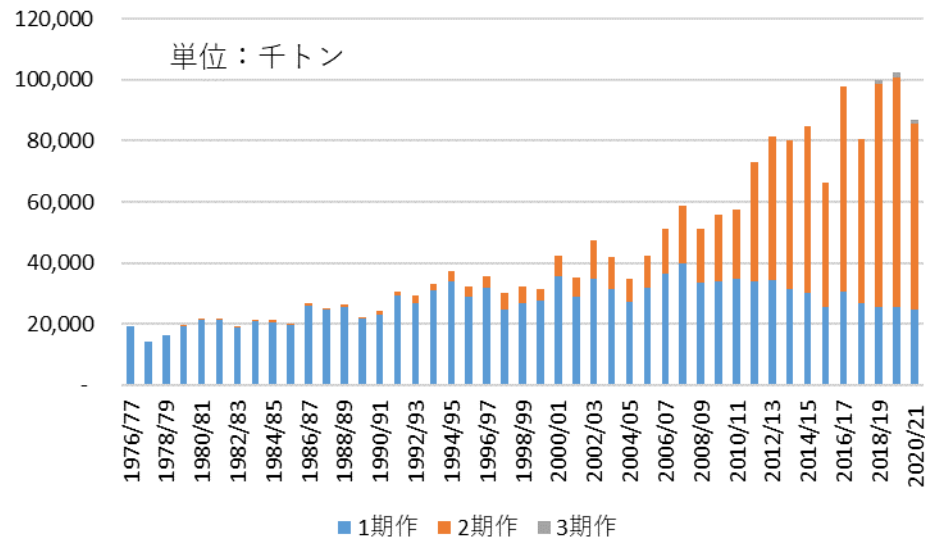


(注) 一番左に位置するプロットから、1970年代、80年代、90年代、00年代、10年代、20年代を示す。

出所: 米国農務省 (USDA) PSD Online

ブラジルのトウモロコシ生産推移について

- ✓ 2010年代に入り、ブラジルにおけるトウモロコシ生産は急拡大し、1億トンを前後する水準。
- ✓ 中西部における大豆の裏作にあたる第二期作が全生産量の過半を占める。



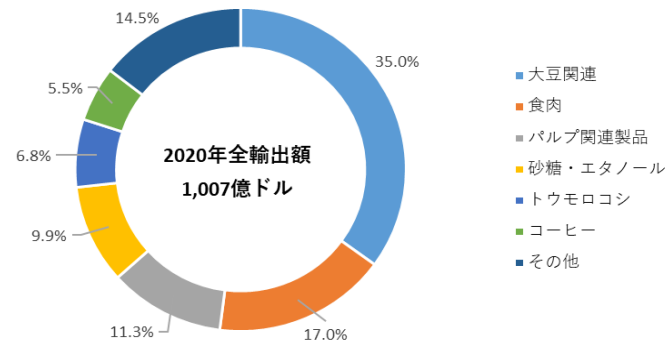
出所：ブラジル食料供給公社（CONAB）

IV. ブラジル・アルゼンチンの農産物輸出入動向

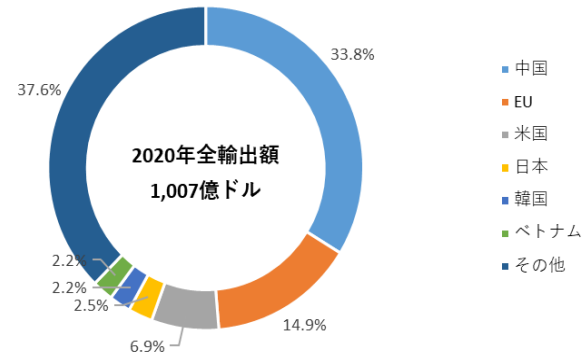
2020年ブラジル農産物輸出の品目および輸出相手国構成

- ✓ 2018年以来、ブラジル史上2回目の農産物輸出額1,000億ドルの大台を突破。
- ✓ 2020年の農産物輸出は、全輸出額(2,092億ドル)の約48%を占める。
- ✓ 中国向けの大豆輸出が、ブラジル経済にとって重要な外貨獲得機会となっている。
- ✓ インドやタイの砂糖生産量が減少したことにより、ブラジルの砂糖・アルコール輸出が急増。

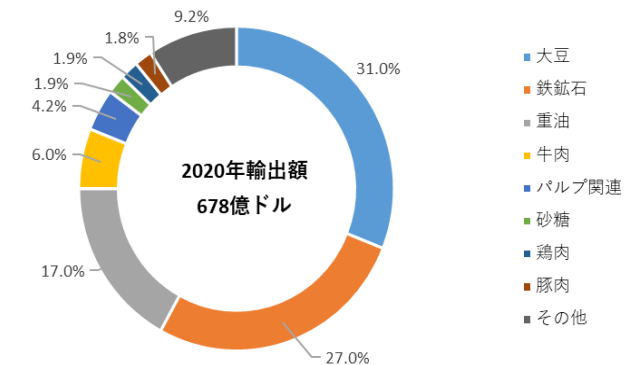
農産物輸出品目構成



農産物輸出相手国構成



(参考) 中国向け輸出品目構成

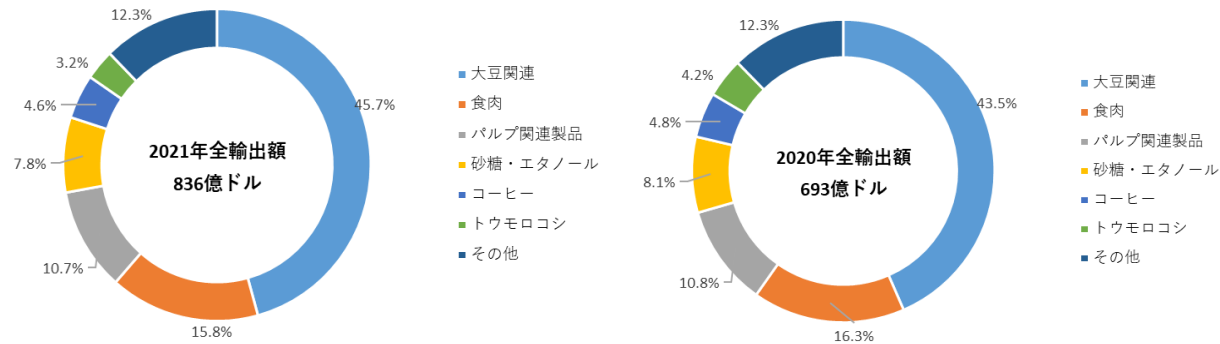


出所: ブラジル農務省 (MAPA)

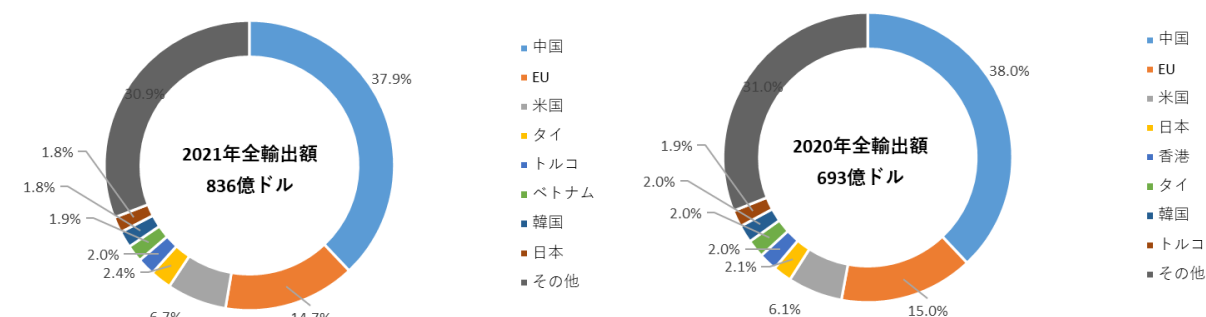
2021年/2020年8月までのブラジル農産物輸出の品目および輸出相手国構成比較

- ✓ コロナ禍における中国経済の回復が早く、2021年8月までの累計輸出金額が、前年の20%増にあたる836億ドル。
- ✓ 主要輸出相手国構成は、中国・EU・米国で構成される。
- ✓ 日本に対する輸出額は大きく変化はないものの、相対的にランキングを落としている状況。

農産物輸出品目構成



農産物輸出相手国構成



出所:ブラジル農務省(MAPA)

ブラジル通貨レアルの対ドル推移

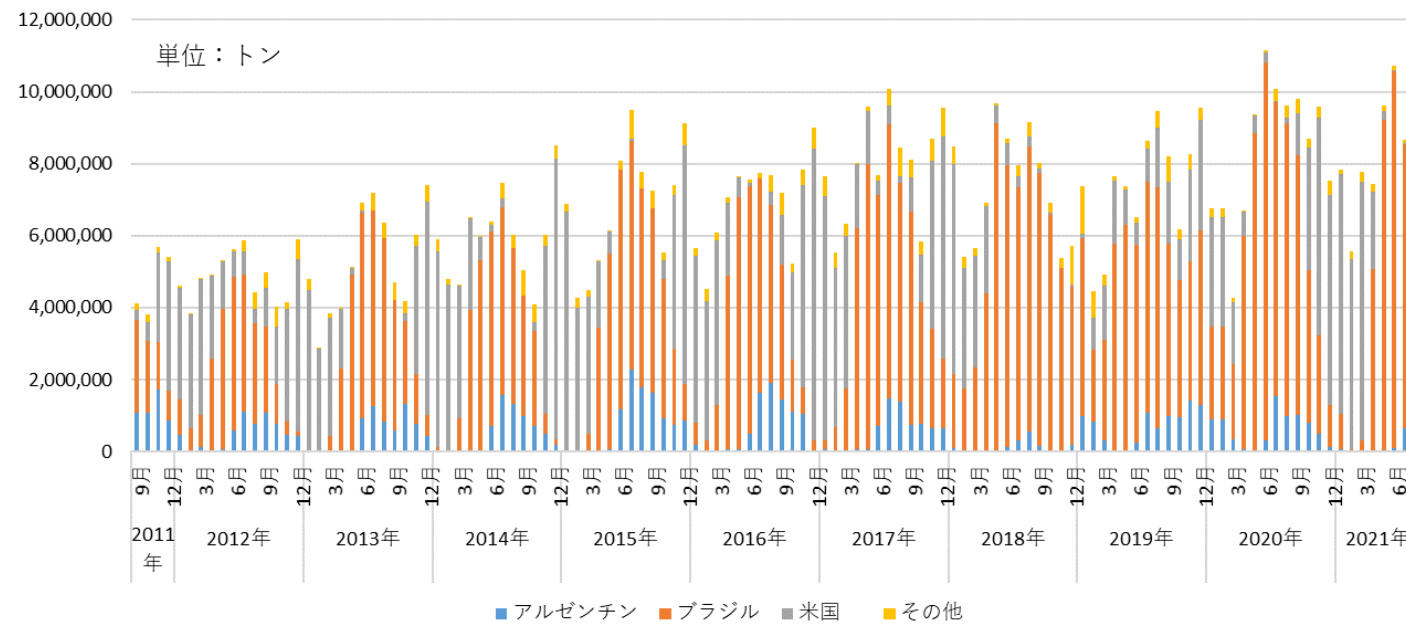
- ✓ 2019年にボルソナーロ政権発足以降、ブラジル通貨レアルは1ドルあたり4レアル前後で推移していた。
- ✓ しかし、2020年3月以降のCovid-19感染拡大に伴い、一時期は1ドル＝6レアルを伺う水準まで売られた。
- ✓ 大豆をはじめとする輸出農産物の生産者にとって、2020年以降の為替は良好な水準。



出所：ブラジル中央銀行 (BCB)

中国の大豆輸入国別推移(月次)

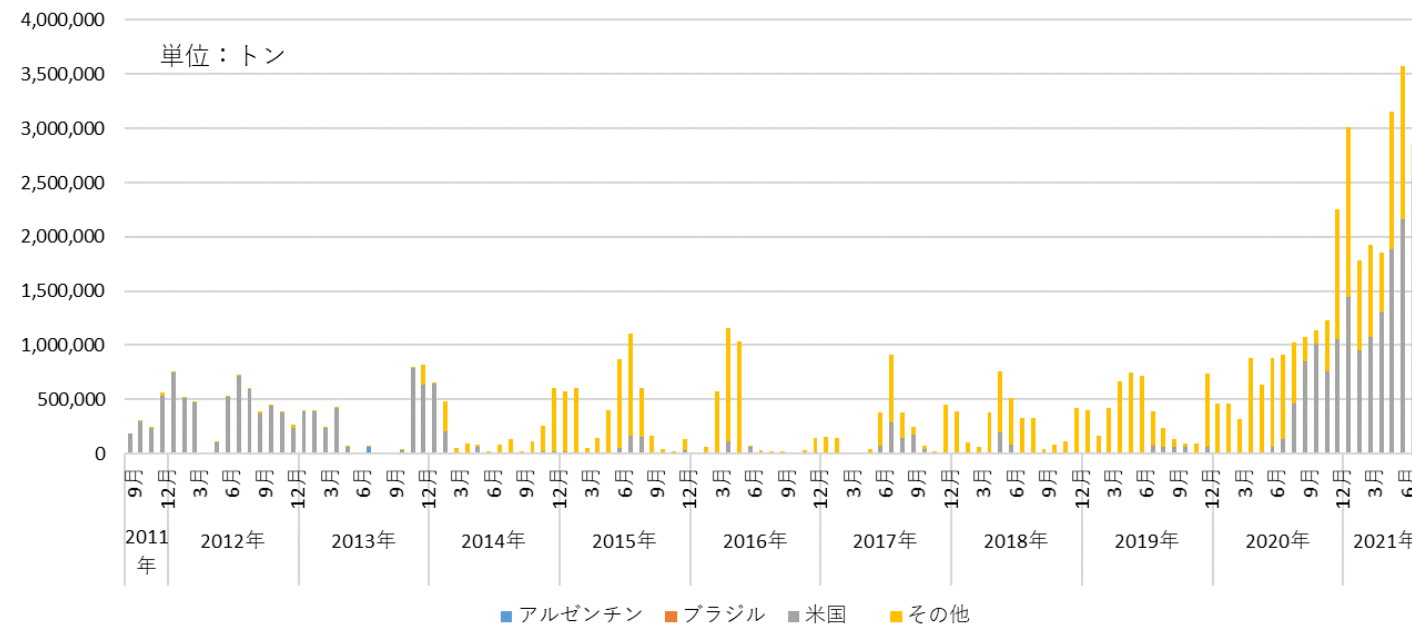
- ✓ 2018年5月以降に本格化した米中貿易摩擦により、ブラジルからの大豆調達量が急増。
- ✓ 中国の大豆に占めるブラジルの割合は、2019年65.1%、2020年64.1%、2021年(8月迄)64.1%。
- ✓ 貿易摩擦以前から、2014年44.8%、2021年49.1%でブラジルは米国を上回るシェアを有していた。
- ✓ ブラジル・米国の不足分をアルゼンチンから調達。



出所：Global Trade Atlas

(参考) 中国のトウモロコシ輸入国別推移(月次)

- ✓ アルゼンチン・ブラジルからのトウモロコシ調達は極々僅少。
- ✓ ウクライナからの調達が主流であったが、2020年後半における米中貿易合意を背景に、米国輸入が急増。



出所：Global Trade Atlas

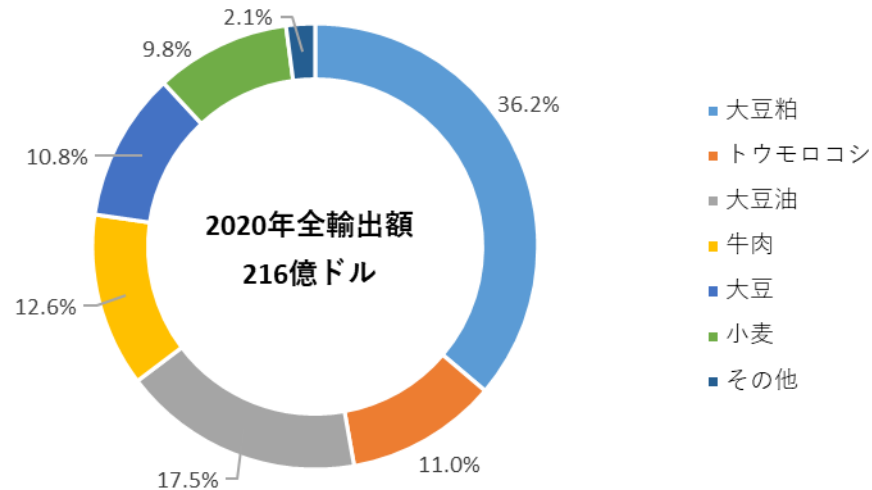
ブラジル農産物輸出に係る短期的に留意すべき点

- ✓ 2021年9月4日、ブラジル農務省は、マトグロッソ州およびミナスジェライス州の2か所にて、非定型のBSEが確認。
- ✓ ブラジル産牛肉の主要輸入国である中国は、牛肉に係る取引を一時停止。2021年11月23日、一部解除。
- ✓ 2004年に衛生上の理由で、中国はブラジル産大豆の輸入を停止した歴史あり。

アルゼンチンの2020年農産物輸出動向

- ✓ アルゼンチンにおける主要輸出農産物は、ブラジルとは異なり、大豆粕および大豆油などの大豆加工品。
- ✓ 大豆（粒）の輸出オペレーションにおいて、中国のCOFCOが穀物メジャーの一つであるADMを抑えて、トップのシェアを有する。

農産物輸出品目構成



大豆輸出企業

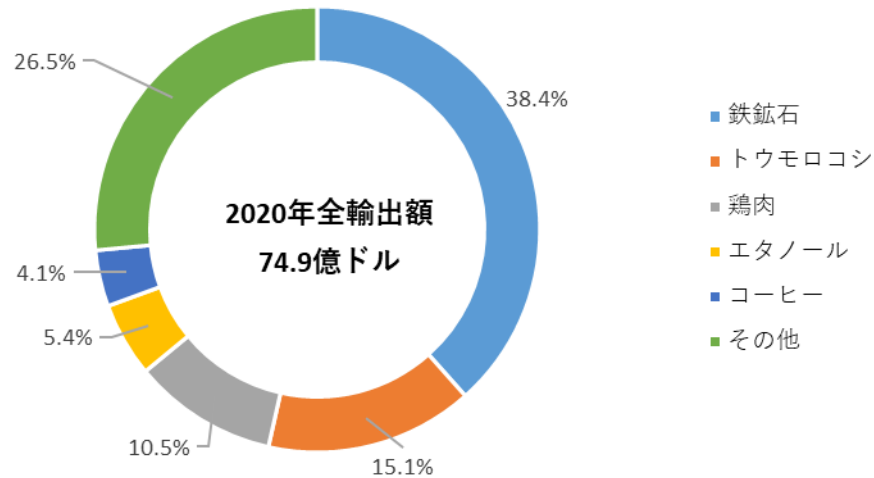
単位：トン	輸出量	シェア
COFCO	1,293,288	19.5%
ADM	1,229,661	18.6%
Cargill	1,016,687	15.3%
ACA	581,951	8.8%
CHS	590,951	8.9%
Amaggi	497,267	7.5%
その他	1,418,893	21.4%
合計	6,628,698	100.0%

出所：中村出（2021）「アルゼンチン」『主要国農業政策・貿易政策プロ研資料』農林水産政策研究所、アルゼンチン農牧漁業省

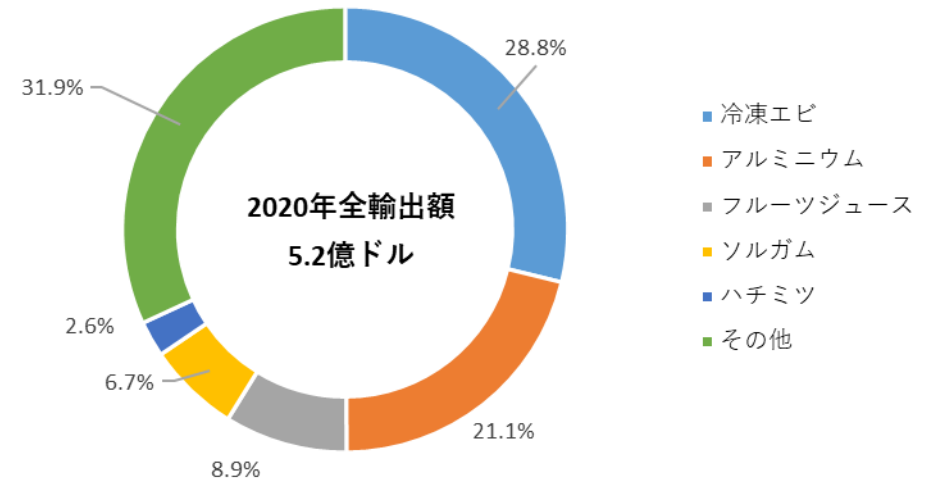
ブラジル・アルゼンチンの対日輸出

- ✓ ブラジル・アルゼンチンのいずれも世界有数の穀物・油糧種子の生産国であるが、日本にとって、ブラジルのトウモロコシは主要輸入農産物である一方、アルゼンチンについては限定的。
- ✓ 日亜の関係において、水産業の関係が深いことが見て取れる。

ブラジル



アルゼンチン



出所: Global Trade Atlas

V. ブラジル・アルゼンチンの食料国内価格高騰への対処法

ブラジル国内のトウモロコシ需給動向

- ✓ CONABの2020/21年度予測では、2021年3月時点でブラジル史上最高の収穫量を見込む。
- ✓ しかし、天候不順により収穫量の予測を大きく引き下げた。

単位：千トン	期初在庫	生産量	輸入量	全供給量	国内消費量	輸出量	期末在庫
2015/16	10,531.3	66,530.6	3,336.2	80,397.1	56,319.1	18,847.3	5,231.4
2016/17	5,231.4	97,842.8	952.5	104,027.0	57,337.3	30,813.1	15,876.2
2017/18	15,876.2	80,709.5	900.7	99,203.1	59,162.0	23,742.2	14,582.1
2018/19	14,582.1	100,042.7	1,596.4	116,221.2	64,957.8	41,074.0	10,189.4
2019/20	10,189.4	102,515.0	1,453.4	114,157.8	68,662.5	34,892.9	10,602.4
2020/21(21年3月予測)	10,602.4	108,068.7	1,000.0	119,671.1	72,149.9	35,000.0	11,757.1
2020/21(21年10月予測)	10,602.4	86,996.0	2,300.0	99,898.4	70,933.5	22,000.0	6,964.9
2021/22(21年10月予測)	6,964.9	116,313.0	900.0	124,177.9	73,676.9	39,000.0	11,501.0

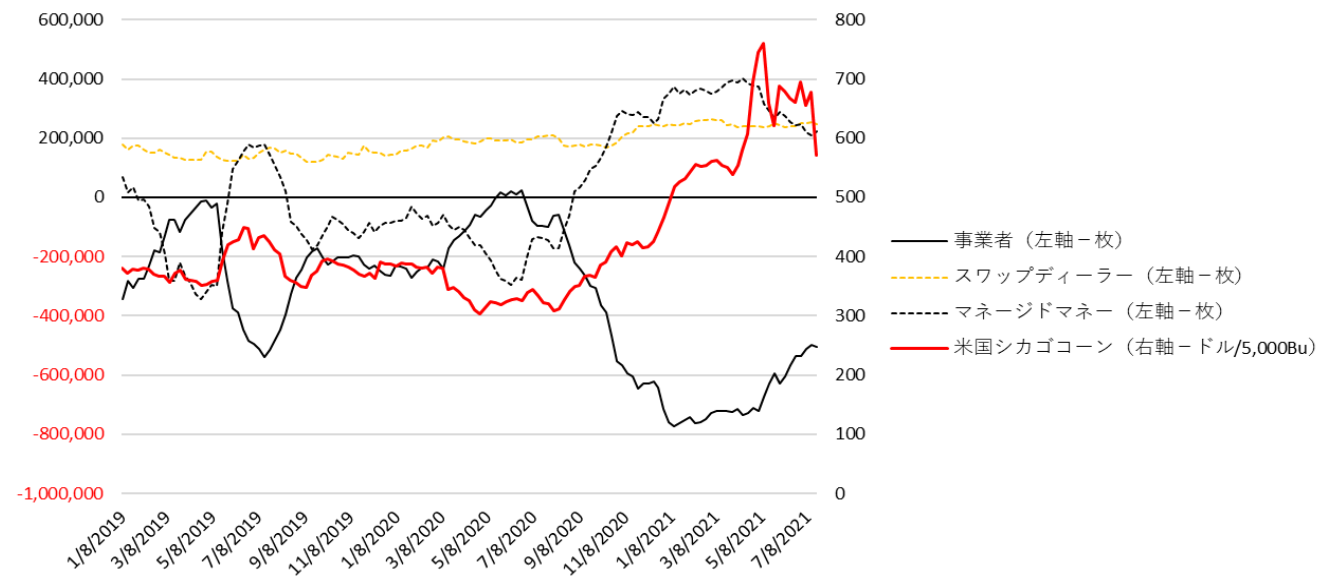
(注)ブラジルの大豆年度は、2020/21年度は20年10月から21年9月であるのに対して、トウモロコシは21年3月から22年2月を示す。

(参考：農林水産省食料安全保障月報 https://www.maff.go.jp/j/zyukyu/jki/j_rep/monthly/attach/pdf/r3index-21.pdf)

出所：ブラジル食料供給公社(CONAB)

トウモロコシのシカゴ相場価格動向

- ✓ 2020年8月の米中間におけるトウモロコシに係る貿易合意により、好調な需要を予測。
- ✓ 丁度同じころ、米国の気候が高温乾燥の傾向を示し、供給懸念が生じた。
- ✓ 以上のことを踏まえ、投機マネーが市場に流入し、トウモロコシの相場が高騰。

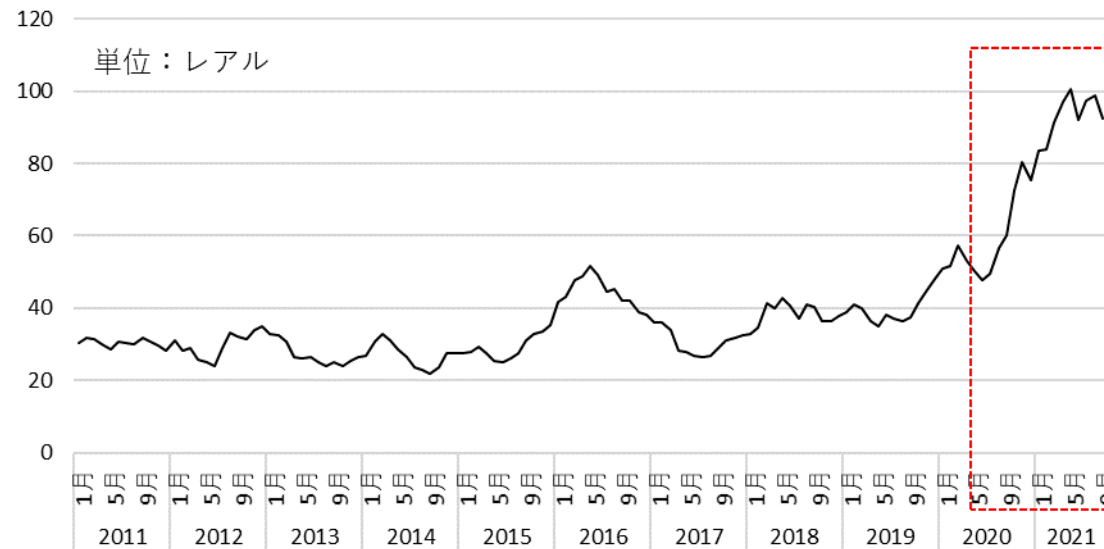


出所: 米国商品先物取引委員会 (CFTC) および Nasdaq から発表者作成

参考文献: 東京商品取引所 (2018) 『農産物取引の基礎知識』 平田・草刈 (2019) 「穀物および大豆における国際価格変動の要因分析」 『農業経済研究』 第90巻: 411 - 415

ブラジル国内のトウモロコシ価格動向

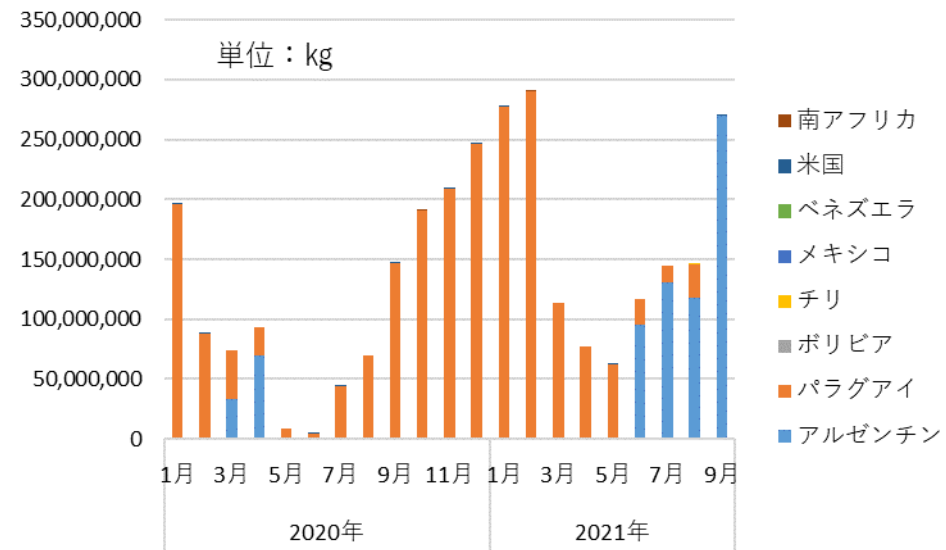
- ✓ シカゴ相場の上昇のほかに、レアル安であったことから、ブラジルのトウモロコシ輸出が旺盛であった。
- ✓ 一方、ラニーニャの影響による天候不順により収穫量の見込みが弱くなったこともあり、更に国内価格が上昇。



出所：サンパウロ大学農学部応用経済研究所 (CEPEA)

ブラジルのトウモロコシ輸入国別推移(月次)

- ✓ 国内価格の高騰を要因として、トウモロコシ輸入を積極的に展開。
- ✓ 畜産業が盛んなブラジル南部に近い、パラグアイおよびアルゼンチンからの調達が大部分を占める。



出所:ブラジル農務省(MAPA)

ブラジルのトウモロコシ輸入に係る制度的対応

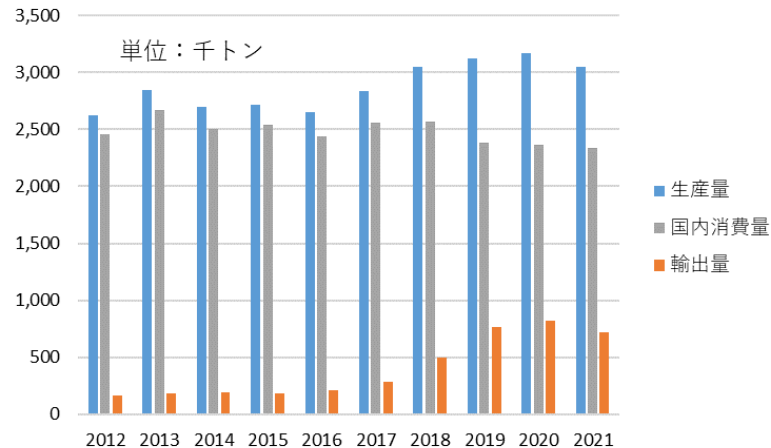
- ✓ 国内のトウモロコシ価格上昇を抑制するために、ブラジル貿易審議会（CAMEX）は、2020年10月に南米南部共同市場（Mercosur）域外からのトウモロコシに対する輸入関税（8%）を2021年4月まで、暫定的にゼロとした。また、2021年4月20日に、同方針を2021年末まで継続することを決定した。
- ✓ 2021年6月14日、国家バイオ保全技術委員会（CTNBio）が、米国産GMOトウモロコシの輸入を承認し、同年7月1日から輸入が可能となる。
- ✓ 2021年9月23日、連邦政府は、暫定措置法1,071号に基づき、トウモロコシ輸入に係る法人の売上高に応じた社会保険負担金（PIS／COFINS）を2021年12月まで減免措置が取られる。

参考 : <https://www.gov.br/pt-br/noticias/financas-impostos-e-gestao-publica/2021/09/governo-suspende-pis-cofins-na-importacao-de-milho-para-desonerar-custo-do-grao-no-mercado-interno>

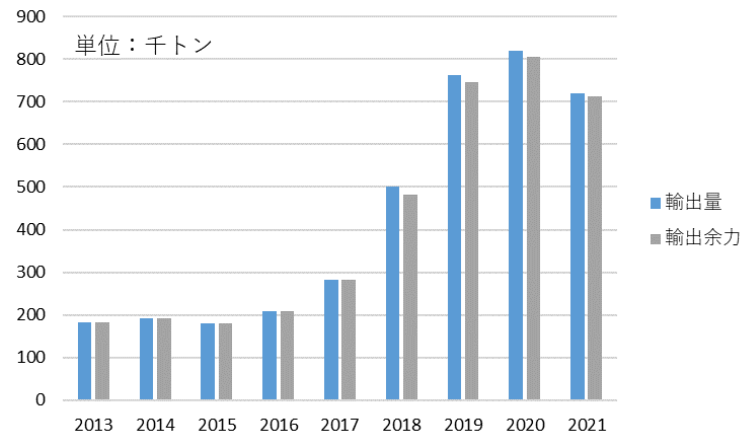
アルゼンチンの牛肉輸出動向

- ✓ 近年、中国向けの牛肉輸出が急拡大。
- ✓ 生産量と輸出量の拡大ペースに相違が生じ、国内の食肉価格が高騰。
- ✓ 国内価格管理のため、2021年5月に輸出を停止、6月に部分的に解除するも、引き続き輸出管理中。

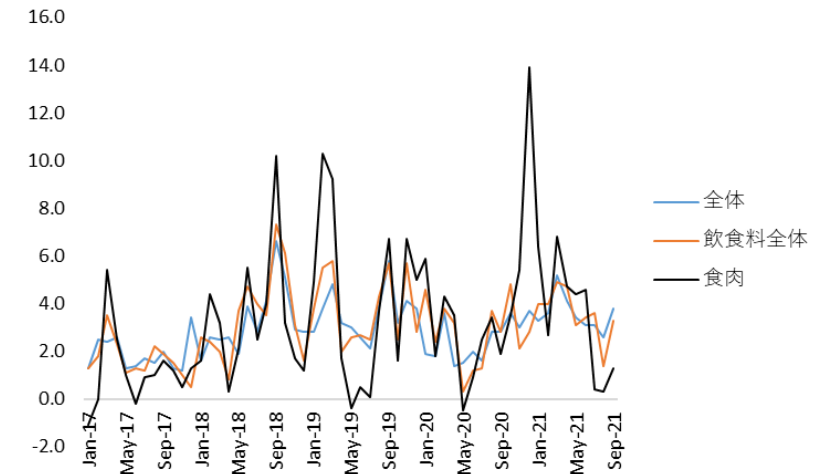
牛肉生産・国内消費・輸出量推移



輸出余力と輸出量の比較推移



インフレ率推移

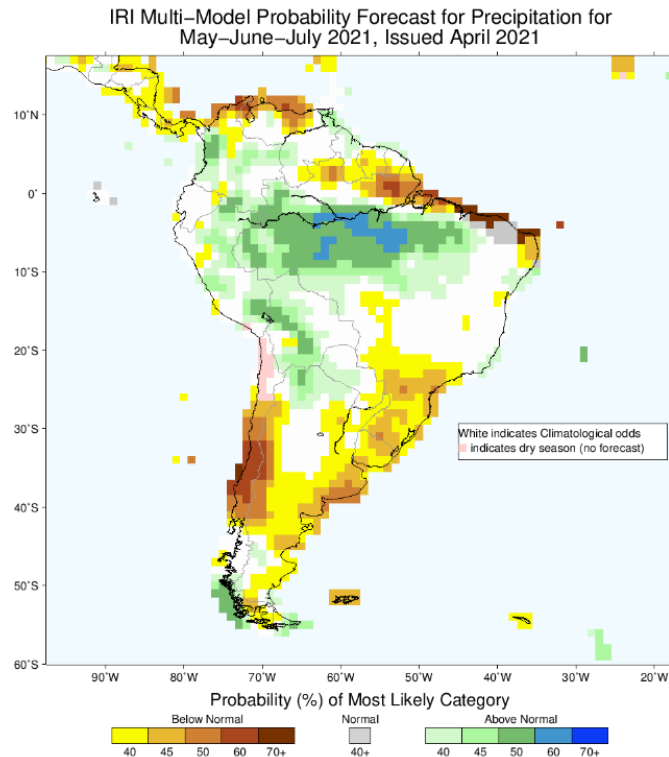


出所:「世界の食料統計(<http://worldfood.apionet.or.jp/graph/>)」およびアルゼンチン国家統計センサス局(INDEC)

VI. ブラジル・アルゼンチンにおける諸課題

ブラジル・アルゼンチンの共通のボトルネック

南米における降雨量予測(2021年4月時点)



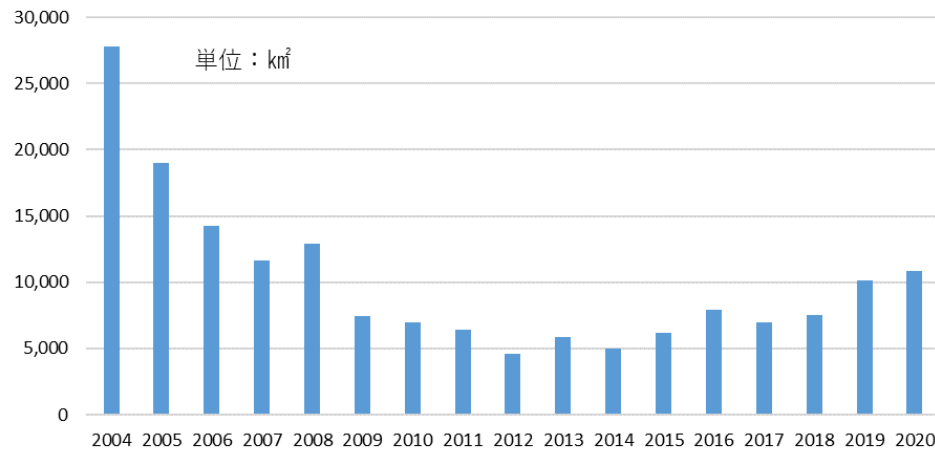
- ✓ 近年、ラ・ニーニャ現象により、降雨量不足という問題に直面。
- ✓ ブラジル南部およびアルゼンチン北部における穀物生産に影響あり。
- ✓ アルゼンチンにおけるパラナ川水位の低下により、産地から港までの穀物輸送に影響あり。
- ✓ 水力発電に依拠するブラジルでは、降雨量不足が農業のみならず国全体に影響をもたらす。

出所: コロンビア大学気候と社会の国際研究所 (IRI) <https://iri.columbia.edu/our-expertise/climate/forecasts/seasonal-climate-forecasts/>

ブラジル大豆・トウモロコシ産業が直面する問題①

- ✓ 2019年以降、法定アマゾンにおける森林伐採の面積が拡大していることに、国際社会からも批判が急増。
- ✓ ブラジル植物油加工業会 (Abiove) およびブラジル穀物輸出協会 (ANEC) が事務局となって、2006年からアマゾン生態系における森林伐採を伴った大豆畑で生産された大豆を取り扱わないとする「大豆モラトリアム」を推進。

法定アマゾンにおける森林伐採面積推移



アマゾン生態系における大豆生産面積(2019年)

状況	面積 (百万ヘクタール)	比率
原生林	304.4	72.8%
伐採地	69.2	16.5%
牧草地・植林地	63.8	15.3%
大豆畑 (大豆モラトリアム遵守)	5.3	1.3%
大豆畑 (大豆モラトリアム非遵守)	0.1	0.0%
その他	44.7	10.7%
全体	418.3	100.0%

出所: ブラジル国立宇宙研究所 (INPE) およびブラジル植物油工業会 (Abiove)

ブラジル大豆・トウモロコシ産業が直面する問題②

法定アマゾンとアマゾン生態系



- ✓ 2012年5月25日に法令第12,651号“Novo Código Florestal(新森林法)”制定。
- ✓ 原生林・森林資源の保護および経済発展の両立を目指す。
- ✓ 農地環境登録(CAR: Cadastro Ambiental Rural)の義務化。
- ✓ 環境正常化プログラム(Programa de Regularização Ambiental)により、2008年7月以前に永久保護区域(APP)などで開発された地域における森林の復元に取り組む。
- ✓ 環境保全に貢献している農家に対して、税制優遇等の経済的インセンティブあり。

出所: 世界自然保護基金(WWF)およびブラジル農牧研究公社(EMBRAPA)

ブラジルにおける近年の重要な農業政策

ブラジル農務大臣Tereza Cristina氏の発言に基づく注力する農業政策

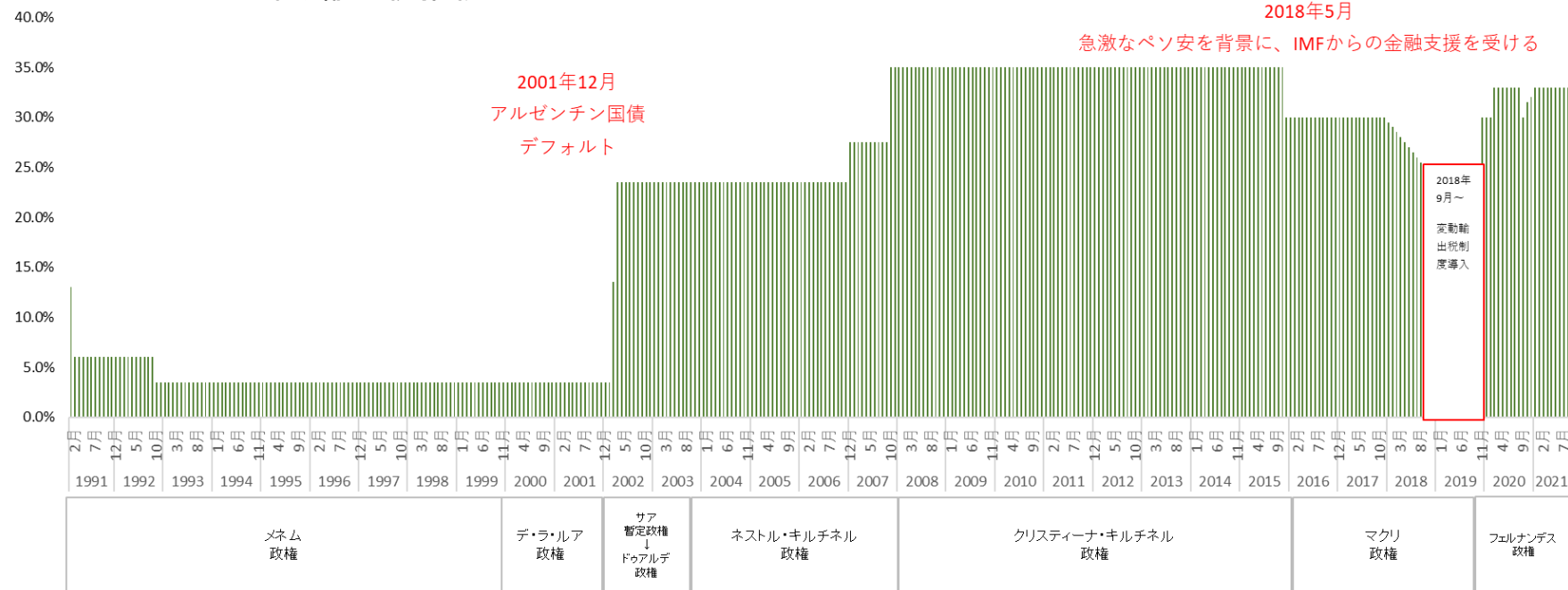
- ❑ 農業金融制度を支える“Plano Safra 2021/2022”と“Lei do Agro”
- ❑ 2021年の法令14,130号による「アグリビジネス生産連鎖に対する投資基金(FIAGRO)」創設
- ❑ 2021年から開始した「低炭素農業+ (Plano ABC+)」
- ❑ 農地環境登録(CAR)の制度強化

参考: FGV(2021)“Revista Agroanalysis”, Agosto:p.6-8.

アルゼンチン大豆産業が直面する問題

- ✓アルゼンチン政府は、政府財政源確保のために、農産物に対する輸出税賦課を実施。
- ✓なお、国内雇用創出および付加価値の高いものを輸出するために、大豆加工品に対する輸出インセンティブあり。

アルゼンチンにおける大豆(粒)輸出税推移



出所: アルゼンチン油産業会 (CIARA) およびアルゼンチン各種法令

VII. 総括

ブラジル・アルゼンチンの農業部門に関するまとめ

- Covid-19感染拡大に伴う行動規制により、マクロ経済は大きく冷え込むものの、農業部門に対する影響は軽微。しかし、ラ・ニーニャによる天候不順の影響が大きく、大豆・トウモロコシの生産や物流に影響を大きく与える。
- 食料の国内供給に対する懸念から生じる価格高騰という問題に対して、アルゼンチンは輸出規制を実施する一方、ブラジルは輸入を拡大することで調整を行う。
- 今後、ブラジルの環境問題、アルゼンチンの財政と輸出税に対する取り組みが着目すべきポイント。
- そのほか、アルゼンチンの11月15日に実施された中間選挙における与党の敗北、またブラジルの来年予定されている大統領選の行方は要注視。

(ご参考) 農林水産政策研究所のURL

<ブラジル関連>

<https://www.maff.go.jp/primaff/seika/kokusai/brazil.html>

<アルゼンチン関連>

<http://www.maff.go.jp/primaff/seika/kokusai/latinamerica.html>